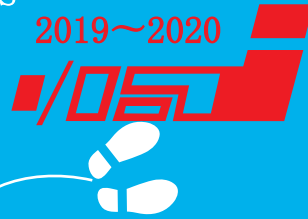




THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
JAPAN EAST REGION
東日本区理事通信



2019.11.5 発行
第5号

勇氣ある変革、愛ある行動!

Innovation with courage, action with heart!

みんなで力を合わせて、1・2・3

Hop, Step and Jump with all Y'smen

強調月間

■ ワイズ理解

■ ファミリーファスト

理事
メッセージ

東日本区理事 山田 敏明 (十勝)

東日本区の皆様、こんにちは。

未曾有の台風19号で被災された方、不便を強いられておられます皆さまに対しまして、心よりお見舞いを申し上げます。

東日本区としては、YMCA同盟と協働して、情報収集や、対策を講じたいと思います。そして、東日本区では募金活動を実施し、YMCAポジティブネット募金に捧げたいと計画しています。

第28回アジア太平洋地域大会で、「防災」・「減災」の研修の機会を得ましたが、地球温暖化等の自然環境の変化がもたらす災害に対して、私たちワイズメンズクラブとしても、真剣に取り組んでいかなければなりません。

今月の強調月間は、ワイズ理解とファミリーファストです。ワイズ理解は、私たちワイズメンズクラブを基本的に学ぶ機会を設けることです。先月10月26日に、「次期部長・事業主任研修会」が開催されました。その時、LT委員会で企画していただいた「ワールドカフェ」つまりワークショップで、ワイズの問題点を洗い出し、また魅力を語り合い、今後の方向性を考えました。とても貴重な機会でありました。今後、「次期会長・部役員研修会」等でも、発展的になり、将来のワイズについて考えていかなければと感じました。

部大会が、台風の影響で、二つの部が延期になりました。今後とも、是非皆さんといろんな機会で、交流の中で、会話のキャッチボールが出来ます様期待しています。

強調
月間

■ ファミリーファストのご紹介

地域奉仕・YMCAサービス事業主任
片山 啓 (茨城)

「ファミリーファスト」(Family Fast:FF)とは、東日本区独自の献金で、タイムオブファスト(TOF)が例会での食事を抜いて献金に充てるのに対し、FFは家族で1食を抜き、その分の金額を献金に充てるというものです。

2006-2007年度以降、「ファミリーファスト」として献金されたものは、東日本区内の“HIV/AIDS啓発運動”の活動のための資金として、活用されています。

この代表的な活動が、今年で26回目を迎えた「AIDS文化フォーラムin横浜」(8/2~8/4)です。横浜YMCAでは、本フォーラムのスタート時より事務局を務めており、組織委員会の委員長は横浜YMCA田口努総主事が担い、運営委員会の円滑な運営を助け、年度を越えての継続的な開催を補佐しています。共催は神奈川県で、東日本区(湘南・沖縄部)も特別協賛としてこの活動を長くサポートしています。

運営資金は、組織委員会(構成団体)からの供出金、個人や助成団体からの寄付金・助成金、会場での寄付金・本の販売代金などに支えられています。行政からの直接的な資金提供は受けていません。あくまで施設提供、広報協力での協力関係です。できることをみ

んなが持ち寄って作り上げる、手弁当持ち寄り型の市民フォーラムです。

FF献金が、このよう活動に用いられていること、覚えて頂ければ幸いです。

お知らせ
ポジティブネットYMCA募金
台風19号・15号被災地支援のお願い

台風15号および台風19号は、関東から東北地方への広域にわたり甚大な被害をもたらしました。幸いワイズメンバーには怪我などを負われた方はありませんでしたが、自宅や職場の浸水、破損などの被害を受けられた方もおられます。東日本区では日本YMCA同盟が募るポジティブネットYMCA募金への協力を決定しました。ご協力を強くお願いいたします。

他団体とワイズメンズクラブ活動の成果との区別をつけるために、送金先は以下の東日本区事務所として頂きますようお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行口座名:ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
ゆうちょ銀行から 口座記号番号 00110-0-362981
他の金融機関から 019支店(当座)362981



第2回東日本区役員会報告

東日本区書記 山下 真 (十勝)

今年度の第2回東日本区役員会が11月2日(土)、日本YMCA同盟JRM会議室において開催されました。議決権者16名中14名、委員長、専任委員、オブザーバーを含め26名の出席でした。審議された以下の議案は、すべて全員の賛成で承認されました。

▼第1号議案:「2019-2020年度第1回東日本区役員会議事録承認の件」

▼第2号議案:「2018-2019年度東日本区大会会計決算承認の件」→余剰金は、①JEFへ献金②東京YMCAリーダー養成支援金③ポジティブネットYMCA基金(台風19号・15号被災地支援)へとする。

▼第3号議案:「Change!2022推進委員会規則・同施行細則の制定について」

▼第4号議案:「Change!2022シンポジウム開催について」→2020年2月1日に開催することになりました。

▼第5号議案:「ワイズ・YMCAパートナーシップ検討委員会の委員増員について」→当該年度の理事を加えることになりました。

▼第6号議案:「新入会員に対する東日本区大会登録費補助の件」→クラブ入会1年以内の会員に対して区大会登録費を全額補助する。ただしChange!2022運動と連動して3年間とする。

▼第7号議案:「ポール・ウィリアム・アレキサンダー遺産計画実施のための献金」→国際協会による標記計画の呼びかけに対し、JEFから125万円拠出する。

自然災害緊急支援基金から 5,000 米ドル

第2回役員会の席上、田中博之アジア太平洋地域会長より山田敏明理事に、台風19号被災地支援に対して、アジア太平洋地域自然災害緊急支援基金(NDERF)から5,000米ドルが贈呈されました。



田中会長(右)より山田理事へ贈呈

※自然災害緊急支援基金(NDERF)とは

NDERF(Natural Disaster Emergency Relief Fund)はアジア太平洋地域において、地震、台風等の大きな災害が発生した際の緊急支援を行う事を目的とした基金で、毎年、アジア太平洋地域内の各区はメンバー1人当たり2US\$を地域会費と併せて送金する。理事の要請に基づき、地域議会の決定により支給される。



ワールド・カフェで議論沸騰

～次期部長・事業主任研修会報告

東日本区LT委員長 北村 文雄 (厚木)

10月26日(土)東日本区次期部長・事業主任研修会が、日本YMCA同盟会館で開催されました。東日本区が『チェンジ!2022』の掛け声の下、区をあげてEMCに取り組み変革を試みようとしている状況のなかで、山田理事、板村次期理事からも、研修会の開催方法の改革を強く求められました。

それを受け、LT委員会では検討を重ねた結果、チョコットチャット、ワールドカフェ、KJ法等の研修手法をアレンジし取り入れてみました。昨年度までの研修でも、研修者の発言の機会を少しでも多くという努力はしておりましたが、やはり機会が限られますので、少グループに分けての研修手法に従っての話し合いは研修者の発言機会が飛躍的に増え、多くの素晴らしい意見を引き出すことができました。

『チェンジ!2022』を受け、次期に向けてLT研修でどのように協力できるか、毎年入会者を上回る退会者がいて、それらは比較的経験が浅いメンバーが多いことから、重要なのは受け皿作りであると位置付け、

討論の話題をワイズメンズクラブをより魅力的に!という話で話し合いました。

ゴールはワイズメンズクラブを魅力的にする方法を考えながら、部長・事業主任としてのモチベーションが高まり連帯感で結ばれるというところに置きました。



今回の研修で、次期部長・事業主任の皆さんにこの研修手法のシステムを理解していただき、3月の次期会長・部役員研修会でも実施し、ワイズの研修手法として普及することを目指したいと思っています。参加者は25名でした。



関東東部部大会 &東京江東クラブ60周年開催

【部大会】 関東東部部長 金丸満雄(東京ひがし)

第23回関東東部部大会は、10月5日(土)、山田敏明東日本区理事をはじめ15名のゲストを含む61名の参加のもと、東京Y東陽町センターにて開催しました。

第1部では、部長挨拶と山田理事より来賓挨拶に続き、各事業主査からそれぞれの活動報告、そして片山啓東日本区地域奉仕Yサ事業主任並びに板村哲也東日本区国際・交流事業主任からも報告が行われました。最後に仮称千葉ウエストクラブ設立に向けて、高田一彦設立準備会副委員長より進捗報告があり、今期中に設立するうれしい表明がありました。

第2部講演は、前段に“Change! 2022”の取組一会員数1,246名を目指すーと題して、栗本治郎推進委員長より会員減少が続くワイズの存続の危機から“Change! 2022”会員増強運動が始動し、東日本区発足当時の会員数1,246名を達成目標として、①5人以上の新クラブ設立②SNSの活用による情報発信③エクステンション委員会の支援④Change2022ニュース発行によるEMC意識の向上等々事業計画の概要と、過日行われたアンケート結果と分析が述べられました。続いて、札幌慶一会員増強事業主任は、フェイスブックの活用を強調され、自身のフェイスブックにこの大会をアップし、即座に流れる情報発信の利点を会員増強に生かしたいと力説されました。短時間の講演でしたが、関東東部EMC事業の起爆剤となりこれからの会員増強に期待します。

【60周年】 東京江東クラブ書記 相川達男

1959年(昭和34年)10月18日、東京江東ワイズメンズクラブは東京YMCA江東センターを拠点として発足しました。東京クラブをスポンサークラブとし、25名のメンバーでスタートした記録があります。現在、メンバー数21名で若干減少していますが、10月5日(土)に設立60周年の記念祝会を開催する事が出来ました。

当日は関東東部の部会と合わせて開催させていただき、130名を超える皆様にご出席いただきました。北は北海道、南は九州熊本、海外からはIBCの台湾台中エバーナイスクラブの方々にも駆けつけて頂き60年の間に築いてきたクラブの交流の輪、絆を改めて強く感じる会となりました。

60周年を迎えるにあたり約1年前から小松実行委員長を中心に準備を進めてきましたが、その間各メンバーがクラブの60年の歴史を振り返りながら話し合い、打ち合わせを繰り返し、その事により今まで以上にクラブの結束力が強固になった気がします。

また、今回の祝会開催に当たっては江東YMCAのスタッフ、リーダー、幼稚園の先生方が多くかかわって下さり祝会を盛り上げてくれました。

祝会に参加して下さった方から「こんなにYMCAと一体になって活動できている江東ワイズが羨ましい」という言葉をいただきました。

すべては、常にYMCAと共に歩む環境を築いてきた先輩ワイズ、歴代の担当主事の努力の賜物と感謝し、これからも地域に根付いたワイズメンズクラブで在り続けたいと感じる60周年祝会でありました。

募集

東日本区事務所長を公募します

下記の要領で東日本区事務所所長を公募します。

- ・勤務期間:2020年7月1日～2021年6月30日(毎年更新、最長3年間)
- ・勤務先:新宿区四谷本塩町 日本YMCA同盟会館内
- ・勤務時間:月・水・金曜日 13:00～18:00(委員会等開催日はその終了時まで)その他区役員会、代議員会、次期研修会等はその開催日・開催時間
- ・職務内容:保存を必要とする文献・記録等の保管。区費・入会金・各種献金の入金管理。経常会計・特別会計の出納管理。国際会費・国際献金・エリア会費等の国際送金等、東日本区事務所内規による。
- ・報酬:年額120万円(別途交通費補助月額1万円)
- ・応募期限:2019年12月12日(木)まで
- ・応募先:東日本区事務所人事委員会委員長 板村哲也



アンケート結果がまとまりました

▼前年度にクラブ会長とメンバー全員にお願いしましたEMCアンケートの結果が、この度まとまりました。東日本区ウェブサイトの「Change!2022」からダウンロードできます。解り易くグラフ化されていますので、今後の会員増強活動の参考にして頂ければと思います。なお、クラブの回答は49クラブ(回答率80%)、メンバーは250名(29%)でした。

▼毎月15日に発行しております「Change!2022ニュース」を読んで頂いているでしょうか? これも東日本区ウェブサイトからダウンロードできます。会員増強のヒントになる記事が掲載されています。是非活用して頂き、クラブの会員増強に繋げて下さい。

▼来年2月1日(土)、Change!2022シンポジウムを東京YMCA社会体育・保育専門学校を会場に開催します。今から予定に入れておいて下さい。

📎 ニュースクリップ

📎 エストニアのワイズ来日・歓迎夕食会

10月1日、東京新宿で東日本区のワイズ、メネット有志10名がエストニア共和国パルヌクラブのマリナ・ルーン会長とご主人の来日歓迎夕食会を行いました。ご夫妻の来日(9月28日～10月13日)はワイズの公式行事ではなく、目的はラグビーワールドカップの英国ウェールズチームの応援(於:東京、大分、熊本)でした(ご主人がウェールズ生まれ、現在エストニアと英国で仕事)。滞在中に日本のワイズとの交流を希望しておられましたが、具体的なことは特に決めていないということでしたので、西日本区国際・交流事業主任ほか有志の皆さまと連絡をとり適宜交流の機会を設けました。



東日本区では日程の関係でクラブ例会訪問は叶いませんでしたが、上記の通り有志が集まり歓迎の夕食会を持ちました。また一部のワイズは東京都内の観光案内をして下さいました。

西日本区では、京都、熊本で懇親・交流の機会が持たれました。ご夫妻は、日本滞在与ワールドカップを大いに楽しまれ、日本はどこに行っても親切にしてくださいましたと、感謝して帰国されました。

(国際・交流事業主任:板村哲也)

📎 次期国際会長選挙結果

去る9月に急逝された次期国際会長のポール・ヘンリック・ホーヴ・ジェイコブセン氏に代わる次期国際会長を選出するための選挙が、国際憲法の規定に則り行われました。その結果、デンマークのジェイコブ・クリステンセン(Jacob Kristensen)氏(写真)が選出されました。



所属:ヨーロッパ地域・デンマーク区・リンケピングワイズメンズクラブ、年齢:67歳、経歴:元教師(校長)、デンマーク区理事(2005)、ヨーロッパ地域会長(2010)



日本YMCA同盟東日本区担当主事

光永 尚生(三島)

10月は、まさに自然の猛威が連続して、改めて畏怖を感じた月でした。皆様もご存じのとおり、未曾有の広域にわたっての自然災害に対して、私たちはどう向き合っていくことができるのでしょうか。

YMCAでは、まさにこれまでの数年間の振り返りを基にして、「エリアセーフティ」という考え方をまとめております。それは、全国を東日本地区、中日本地区、西日本地区と3つに分類し、どの地域で巨大な自然災害が発生したとしても、他の地区のYMCAや、ワイズメンズクラブなどが協力して、第1次、第2次、第3次と続く支援活動に対応していくことを可能とする仕組みを創ろうとするものです。

今回は、東日本地区の災害に際して、東日本地区のエリアセーフティネットワークを構築しつつ、近隣のYMCAが情報収集、情報分析、初動の調査などを担おうとしてきました。その働きをサポートするために、中日本地区、西日本地区のYMCAと関係する団体が、募金活動などの開始や地域への協力の依頼を進め、息の長い支援活動となるように将来への道筋をつけていこうとするものです。現在も、災害の全容がつかめないほどに、被害が拡大しておりますが、私たちのYMCA、私たちのワイズメンズクラブは、地域に寄り添い、仲間と繋がりながら、「そっと寄り添う」支援活動を続けるべく、日々活動を続けているところです。皆様におかれましても、私たちがすべきこと、私たちにできること、私たちが続けていくべきことなどをお考えいただきつつ、募金活動、支援活動並びに実行可能な活動を共にお支え頂ければ幸いです。

日本YMCA同盟は、皆様に対して、今後とも持続可能な働きを目指して情報の発信や御願いを続けさせていただきます。引き続き宜しくお願ひ申し上げます。

ワイズカレンダー

- ・11月10日(日) ワイズデー
- ・11月30日(土) 東日本区ワイズメネットのつどい
(日本基督教団毛呂教会-埼玉県入間郡毛呂
講演:「あら、まあ、簡単!茶の湯の易しいおもてなし
～日本とヴァチカンの往復書簡より～」
講師:深尾香子(東京多摩みなみクラブ会長)
- ・12月14日(土) あずさ部部大会(松本・深志斎館)

歓迎! -10月の入会者 (敬称略)

- ★米澤さつき・結城眞代(東京たんぼぼ)
- ★稲生 康(沼津)
- ★渥美雄一郎・稲田梨菜(熱海)